

作成日:2013年 7月31日  
(前回作成日:2013年 4月30日)

# アセット トライ

## 期間運用報告書

自:2013年 4月 1日

至:2013年 6月30日

作成者 : AT ADMINISTRATION (CAYMAN) LIMITED

交付者 : 岡藤商事株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川2-12-16  
コールセンター 電話 0120 (33) 7639

A. ファンドの状況

1. 資産推移(販売、解約の状況)

単位:千円

計算期間 *1	前期末*2		期中解約			期中販売			期末	
	口数	総純資産	件数	口数	総額*3	件数	口数	総額*4	口数	総純資産
1999/2/1～ 1999/5/31	720.000000	720,000	0	0.000000	0	43	72.791622	70,000	792.791622	740,509
1999/6/1～ 2000/5/31	792.791622	740,509	47	84.050664	78,704	52	125.839074	114,000	834.580032	799,018
2000/6/1～ 2001/5/31	834.580032	799,018	40	114.758743	129,155	8	8.087742	9,000	727.909031	815,593
2001/6/1～ 2002/5/31	727.909031	815,593	31	44.387643	51,035	80	138.652441	161,000	822.173829	872,581
2002/6/1～ 2003/5/31	822.173829	872,581	53	215.272753	286,590	82	132.339191	175,000	739.240267	1,116,301
2003/6/1～ 2004/5/31	739.240267	1,116,301	24	31.843891	45,639	192	306.840111	453,000	1,014.236487	1,414,915
2004/6/1～ 2005/5/31	1,014.236487	1,414,915	45	62.586487	88,110	322	418.237374	582,000	1,369.887374	2,025,127
2005/6/1～ 2006/5/31	1,369.887374	2,025,127	95	461.930128	734,344	444	732.904334	1,226,000	1,640.861580	2,862,430
2006/6/1～ 2007/5/31	1,640.861580	2,862,430	159	326.531143	540,296	398	580.581296	973,000	1,894.911733	3,386,437
2007/6/1～ 2008/5/31	1,894.911733	3,386,437	224	332.721437	662,243	0	0	0	1,562.190296	3,571,161
2008/6/1～ 2009/5/31	1,562.190296	3,571,161	159	245.328954	551,663	0	0	0	1,316.861342	2,922,718
2009/6/1～ 2010/5/31	1,316.861342	2,922,718	74	104.247836	210,683	0	0	0	1,212.613506	2,496,116
2010/6/1～ 2011/5/31	1,212.613506	2,496,116	155	212.923305	466,843	0	0	0	999.690201	2,267,404
2011/6/1～ 2012/5/31	999.690201	2,267,404	141	228.329614	500,833	13	11.973380	25,000	783.333967	1,823,261
2012/6/1～ 2012/6/30	783.333967	1,823,261	7	6.923477	15,831	6	6.061412	14,000	782.471902	1,802,975
2012/7/1～ 2012/9/30	782.471902	1,802,975	17	52.958542	113,448	1	0.434230	1,000	729.947590	1,502,033
2012/10/1～ 2012/12/31	729.947590	1,502,033	17	25.218714	49,098	2	2.927532	6,000	707.656408	1,387,156
2013/1/1～ 2013/3/31	707.656408	1,387,156	16	18.118185	37,722	0	0.000000	0	689.538223	1,586,848
2013/4/1～ 2013/5/31	689.538223	1,586,848	11	8.004511	18,283	1	1.306068	3,000	682.839780	1,524,861
2013/6/1～ 2013/6/30	682.839780	1,524,861	8	8.946261	19,778	0	0.000000	0	673.893519	1,430,596
累計	—	—	1,323	2,585.082288	4,600,298	1,644	2,538.975807	3,812,000	—	—

- 注: \*1 運用開始日は1999年2月1日です。  
 \*2 運用開始時の前期末口数・総純資産は、初回販売口数・総純資産となっております。  
 \*3 期中解約総額は、解約手数料が差し引かれております。  
 \*4 期中販売総額には、販売手数料が含まれておりません。  
 \*5 期中販売及び期中解約の件数、口数及び件数は、払込期限及び解約手続基準日の翌月に反映しております。

2. 運用実績推移(1口当たり)

単位:円

計算期間 *1	前期末 純資産	期中損益	期末 純資産*2	期間 騰落率	運用開始来 騰落率*3	年平均 騰落率
1999/2/1～ 1999/5/31	1,000,000	-65,947	934,053	-6.59%	-6.59%	—
1999/6/1～ 2000/5/31	934,053	23,337	957,390	2.50%	-4.26%	-3.21%
2000/6/1～ 2001/5/31	957,390	163,070	1,120,460	17.03%	12.05%	5.17%
2001/6/1～ 2002/5/31	1,120,460	-59,150	1,061,310	-5.28%	6.13%	1.84%
2002/6/1～ 2003/5/31	1,061,310	448,756	1,510,066	42.28%	51.01%	11.78%
2003/6/1～ 2004/5/31	1,510,066	-115,011	1,395,055	-7.62%	39.51%	7.41%
2004/6/1～ 2005/5/31	1,395,055	83,262	1,478,317	5.97%	47.83%	7.55%
2005/6/1～ 2006/5/31	1,478,317	266,151	1,744,468	18.00%	74.45%	10.15%
2006/6/1～ 2007/5/31	1,744,468	42,653	1,787,121	2.45%	78.71%	9.45%
2007/6/1～ 2008/5/31	1,787,121	498,875	2,285,996	27.92%	128.60%	13.78%
2008/6/1～ 2009/5/31	2,285,996	-66,539	2,219,457	-2.91%	121.95%	11.80%
2009/6/1～ 2010/5/31	2,219,457	-160,998	2,058,459	-7.25%	105.85%	9.34%
2010/6/1～ 2011/5/31	2,058,459	209,647	2,268,106	10.18%	126.81%	10.28%
2011/6/1～ 2012/5/31	2,268,106	41,586	2,309,692	1.83%	130.97%	9.82%
2012/6/1～ 2012/6/30	2,309,692	-6,766	2,302,926	-0.29%	130.29%	9.71%
2012/7/1～ 2012/9/30	2,302,926	-253,419	2,049,507	-11.00%	104.95%	7.68%
2012/10/1～ 2012/12/31	2,049,507	-89,296	1,960,211	-4.36%	96.02%	6.90%
2013/1/1～ 2013/3/31	1,960,211	336,758	2,296,969	17.18%	129.70%	9.15%
2013/4/1～ 2013/5/31	2,296,969	-63,853	2,233,116	-2.78%	123.31%	8.60%
2013/6/1～ 2013/6/30	2,233,116	-110,235	2,122,881	-4.94%	112.29%	7.79%
累計	—	1,122,881	—	—	—	—

注: \*1 運用開始日は1999年2月1日です。

\*2 期末純資産は、1口当たりの表記となっておりますので、お客様の保有口数を乗じた金額がお客様の保有する口数に対する時価となります。

\*3 運用開始来騰落率は、運用開始日の1口当たり純資産価額100万円を基準として算出されています。

\*4 パーセンテージの計算は小数点以下第3位を四捨五入しています。

注: 1) 純資産は、契約締結前交付書面2. 13項に基づいて算出されております。

2) 期間騰落率及び運用開始来騰落率、年平均騰落率の計算方法は、次の通りとなっております。  
なお、すべて1口当たりの価額にて算出しております。

① 期間騰落率

$$= \frac{\text{期末純資産(期中配当含む)} - \text{期初純資産}}{\text{期初純資産}} \times 100$$

② 運用開始来騰落率

$$= \frac{\text{期末純資産(期中配当含む)} + \text{前期末までの配当累計} - \text{運用開始時純資産}}{\text{運用開始時純資産}} \times 100$$

③ 年平均騰落率(設定時より1年以上経過した場合のみ記載。)

$$= \text{運用開始来騰落率} \div (\text{運用日数(片端落し)} / 365)$$

B. ファンドの概況

先物顧問運用会社による運用状況

プラスに寄与したセクター	なし						
マイナスに寄与したセクター	エネルギー	金属	農産物	通貨	金利	株価指数	

為替相場は、一時の92円台から4月の日銀大型金融緩和発表を受けて円安が進み、5月には103円台となる場面もありました。5月下旬の日本株の急落をきっかけに94円へ円高、同時にユーロ高となりましたが、6月に米国の量的金融緩和が早期に縮小されるとの見通しが強まるとドル全面高へ転換。期末には99円への円安となりました。

主要国の短期金利は、日米欧ともに金融緩和策を維持するなかで低水準での横ばい、スイスではマイナス金利となりました。長期金利は、株価上昇で債券市場から資金が流出したほか、米国が早期に量的金融緩和を縮小するとの見通しが強まったことから、米国内主導で上昇。国内では4月の追加緩和もあって上昇は限定的となりました。

主要国の株価指数は、当初は全面高となりました。日銀緩和を背景に日本株が急伸しリーマンショック前の水準を回復、米国のNYダウ、ドイツのDAX指数が過去最高値を更新。5月の日本株急落をきっかけとした全面安から先進国市場では次第に持ち直しましたが、米国の量的緩和の早期縮小見通しもあって新興国市場は軟調となりました。

原油相場は、欧州経済の下振れリスクや中国の経済成長鈍化が懸念され、ブレント原油は当初の110ドル水準から一時96ドル台へ急落しました。しかし、米国経済の堅調やドライビングシーズン入りでの需要増加見通しや、シリアなど中東地域の情勢不安が下支えとなり、5月以降は100～106ドルでの横ばい推移となりました。

金相場は、米国市場での金ETFの持ち高解消売りを背景に当初の1,600ドル水準から急落しました。4月の1,350ドル割れからは、中国を中心にアジアでの需要が強まり反発。しかし、1,480ドルを抵抗に続落し、米国の量的金融緩和縮小見通しからドル高が進んだことも圧迫となって、期末には一時1,200ドルを割り込む場面も見られました。

大豆相場は、当初の1,400セント水準から1354.50セントへの下げを経て上昇傾向となりました。米国では産地の天候不良で作付けが大幅に遅れ、生産への影響が懸念されたほか、南米の港湾ストライキなどから米国産大豆の輸出需要が堅調で旧穀に品薄感が強まると上値を伸ばし、期末には1,550セントを上抜きました。

C. 資産推移

